

お知らせ

記者発表資料
配布日

平成30年3月19日

■同時発表先：岡山県政記者クラブ
倉敷市記者クラブ

環境保全に関する取り組み状況を報告します

～『第1回小田川合流点付替え事業環境影響評価フォローアップ委員会』
を開催します～

国土交通省中国地方整備局では、高梁川水系直轄河川改修事業（小田川合流点付替え）を平成26年度に事業化しており、平成30年度に仮設工事着手、その後おおむね10年での完成を目指し、鋭意検討を進めております。

本事業は、平成26年4月に環境影響評価の手続きが完了しており、小田川合流点付替え事業の**環境影響評価書に基づく環境保全措置及び事後調査を適正に実施するため**、「第1回小田川合流点付替え事業環境影響評価フォローアップ委員会」を開催します。

初回となる今回は、**環境モニタリングの調査及び計画について取り組み状況を報告し、有識者からの助言を頂きます。**

キーワード： 小田川合流点付替え、環境影響評価、環境アセスメント、有識者からの助言

記

日時：平成30年 3月27日（火） 10:00～12:00

場所：岡山河川事務所 2階 会議室（岡山市北区鹿田町2-4-36）

議題：別紙の通り

※委員会は公開ですが、傍聴者席の座席数に限りがあり先着順となりますのでご了承ください。会場へは、30分前より入場できます。

※駐車スペースはございますが、先着順となりますのでご了承ください。

※委員会中の報道等撮影は、会議進行の都合上、別紙 議事次第の「4. 委員長挨拶」までとさせていただきます。

※防災体制等により中止になる場合は、当日8時までに事務所HP（<http://www.cgr.mlit.go.jp/okakawa/>）にてお知らせします。

<問合せ先>

国土交通省 中国地方整備局 岡山河川事務所

TEL (086) 223-5186 (計画課直通)

FAX (086) 232-4195

【担当】

副所長（技術）

しもやま しげる
下山 茂

計画課長

はまもと けんたろう
濱本 賢太郎

第1回小田川合流点付替え事業
環境影響評価フォローアップ委員会

日時：平成30年3月27日（火）
10:00～12:00
場所：国土交通省中国地方整備局
岡山河川事務所2F大会議室

議 事 次 第

1. 開会

2. 岡山河川事務所長挨拶

3. 委員紹介、規約・規定説明

4. 委員長挨拶

5. 議事（公開）

- (1) 平成29年度環境モニタリング調査報告
- (2) 環境モニタリング計画（工事着手）について
- (3) 小田川柳井原地区川づくり検討協議会について（報告）
- (4) 小田川合流点付替え事業掘削土対策検討会について（報告）

6. 閉会

以 上

(別表)

小田川合流点付替え事業環境影響評価フォローアップ委員会 委員名簿

氏名	所属・役職	担当分野
おくしま ゆういち 奥島 雄一	倉敷市立自然史博物館 学芸員	陸上昆虫類
かわら おさみ 河原 長美	岡山大学 名誉教授	水質、底生動物、廃棄物等
なката かずよし 中田 和義	岡山大学大学院 環境生命科学研究科 准教授	魚類
にしがき まこと 西垣 誠	岡山大学大学院 環境生命科学研究科 特任教授	地下水、地形及び地質、地盤沈下
にしやま さとし 西山 哲	岡山大学大学院 環境生命科学研究科 教授	大気質、騒音、振動
はだ よしお 波田 善夫	岡山理科大学 生物地球学部 教授	植物
まるやま けんじ 丸山 健司	日本野鳥の会 岡山県支部 支部長	鳥類

(敬称略 五十音順)

高梁川・小田川の沿川を洪水から守る

「小田川合流点付替え事業」

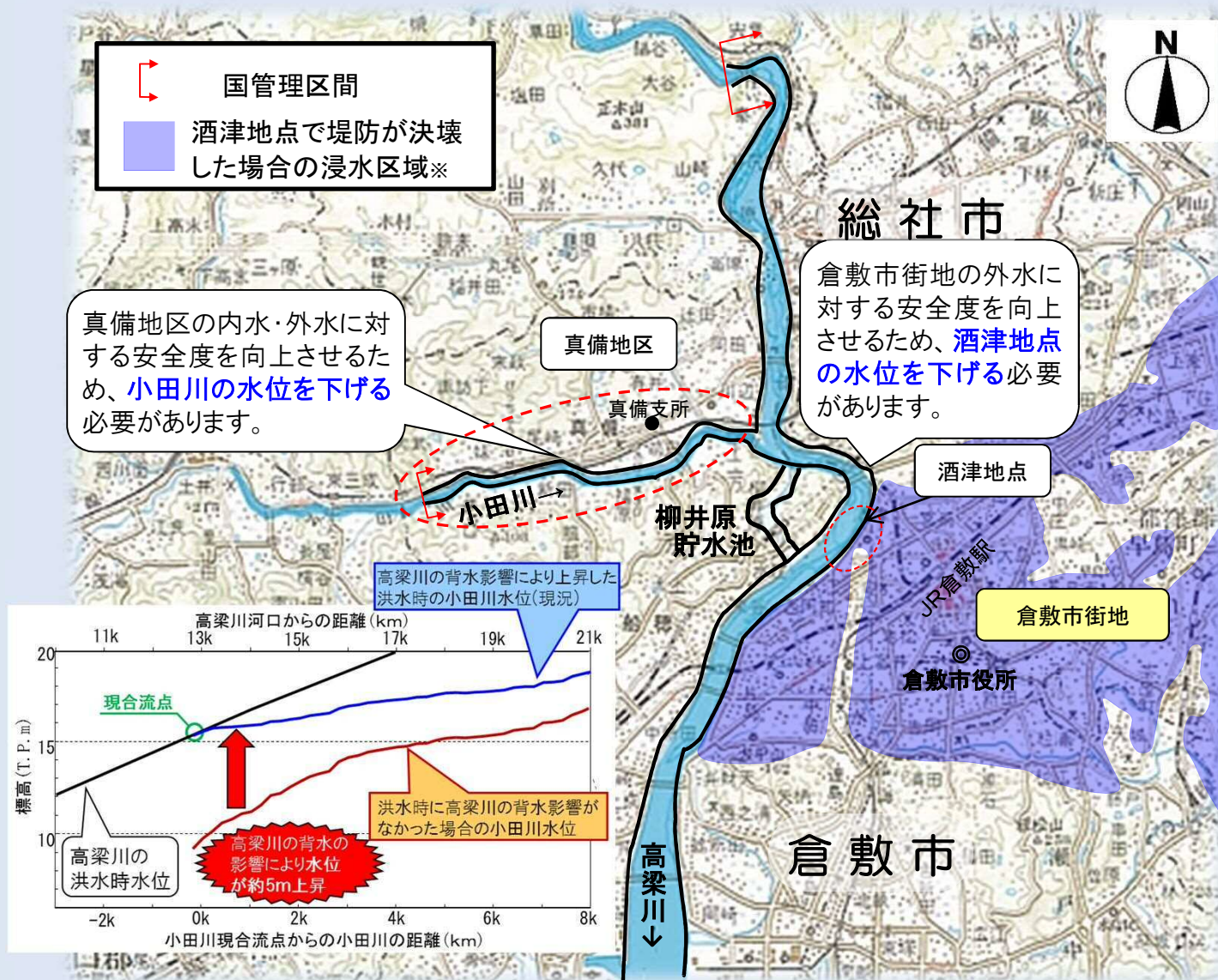


◎小田川合流点付替え事業の必要性

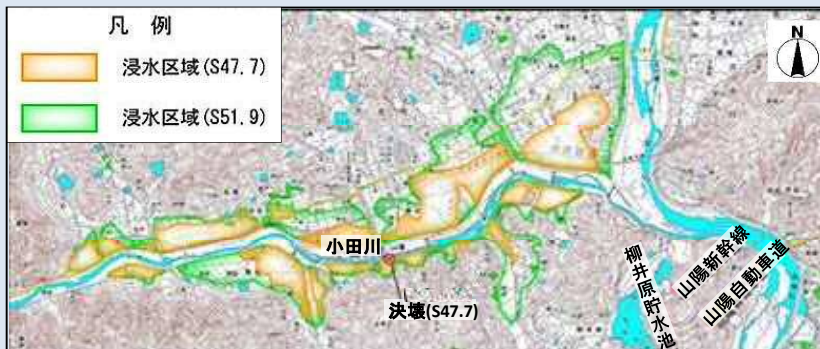
参考資料1

現在の小田川は、洪水時に高梁川の水が小田川に回り込み、小田川の流れが阻害され、水位が高くなる特性（背水影響）を持っています。合流点付近に位置する**真備地区**では、洪水時に支川から河川への排水ができず、過去何度も内水被害を受けてきました。そのため、**小田川の水位を下げ、内水被害を防ぐ**必要があります。

また、流域で最も人口・資産が集積する**倉敷市街地**が背後に存在する**酒津地先**の安全度を向上させるため、**酒津地点の水位を下げる**必要があります。



※現時点において、計画規模の洪水が発生し、酒津地点の堤防が決壊した場合に想定される浸水区域を記載しています。詳しくは「国土交通省地点別浸水シミュレーション検索システム(浸水ナビ) <http://suiboumap.gsi.go.jp/faq.html>」を参照ください。



小田川の内水氾濫状況 (倉敷市真備地区)

◎小田川合流点付替え事業の概要

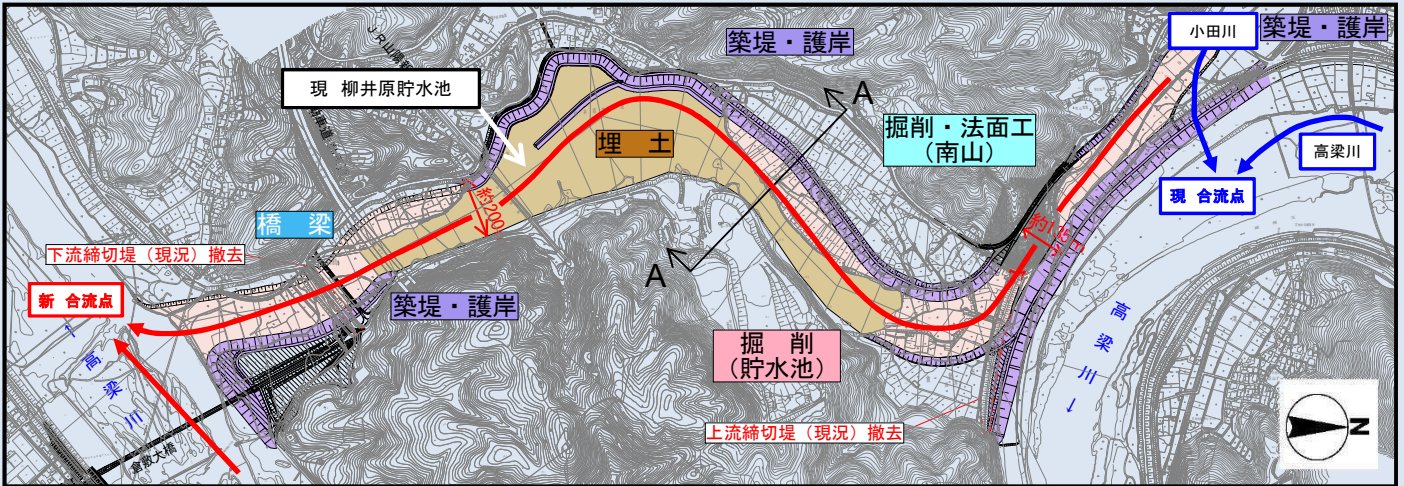
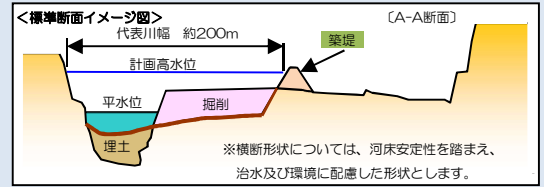
参考資料1

事業内容

現在の柳井原貯水池を活用し、高梁川との合流位置を約4.6km下流へ付替え、小田川の沿川地域及び倉敷市街地における治水安全度の向上を図ります。

主な工事内容

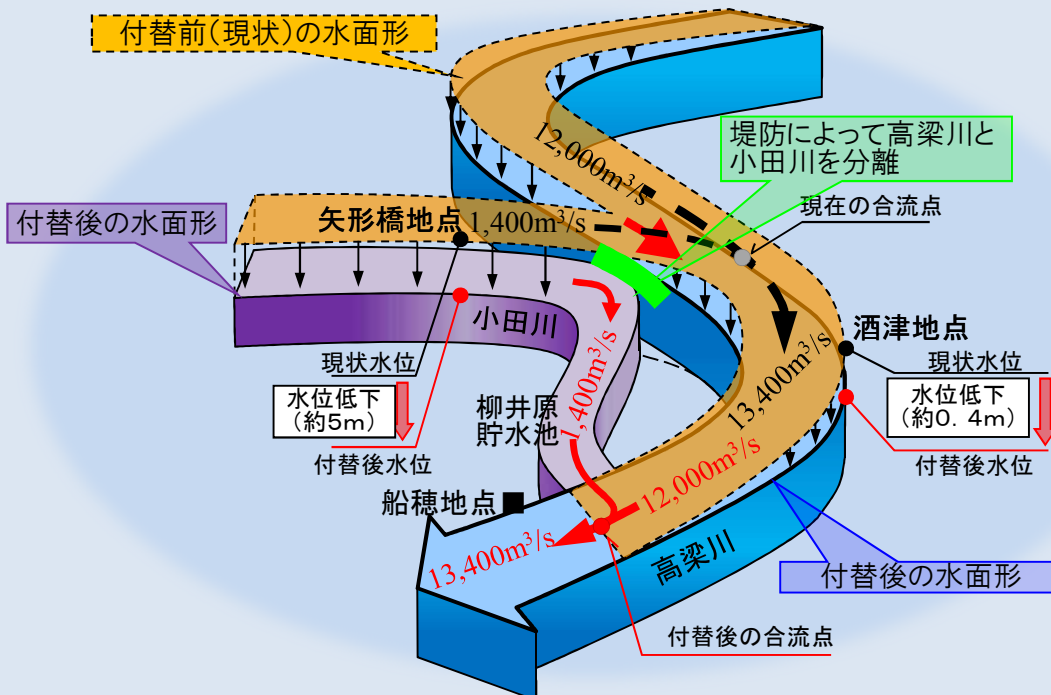
- 南山の掘削を行い、その土砂で築堤や貯水池内の埋土を行います。
- 現在の耕作地や上下流の締切堤を撤去し、小田川を付替えます。
- 下流の締切堤上を利用している道路を橋梁にします。



概略計画平面図(平成28年6月現在)

◎小田川合流点付替え事業の効果

- ◆洪水時に高梁川からの背水影響が減少し、**小田川の水位が現状より大幅に低下します。**
- ◆小田川を下流で合流させることにより、**酒津地点の洪水位も低下し、倉敷市街地の氾濫危険度を低減できます。**



※図中の13,400m³/sは、高梁川本川の治水計画において目標としている流量です。また、12,000m³/s及び1,400m³/sは、その際に各河川に流れる流量です。